

令和6年度 第1回 松江市文化財保護審議会 会議録

1 日 時 令和6年7月30日（火） 13：30～16：30

2 場 所 市町村振興センター 6階中会議室

3 出席者 別記のとおり

4 次 第

（1）報告事項 《一部公開》

報告1） 史跡松江城地内での倒木発生状況と今後の対応について（公開）

報告2） 市指定文化財指定候補リストについて（非公開）

報告3） 市指定文化財の点検報告について（非公開）

報告4） 市指定文化財指定候補について（非公開）

（3）議事 《非公開》

議事1） 市指定文化財の指定について

（4）その他

5 会議経過 別記のとおり

6 事務局 松江市文化スポーツ部文化財課

出席者

【委員】12名

役 職	氏 名	専 門 分 野	職 名 等
会長	佐藤 信	歴史資料（古代史）	東京大学名誉教授 横浜市歴史博物館館長、くまもと文学・歴史館館長
副会長	松本 岩雄	考古資料	島根県立八雲立つ風土記の丘顧問
委員	足立 正智	建造物	建築設計事務所 飴屋工房 代表
委員	藤間 寛	工芸品、絵画、彫刻 （日本美術）	島根県立美術館館長
委員	的野 克之	工芸品、絵画、彫刻 （仏教美術）	島根県立石見美術館館長 松江歴史館学芸専門監
委員	長谷川 博史	歴史資料（中世史）	島根大学教育学部教授
委員	小林 准士	歴 史 資 料 （ 近 世 史）、古文書	島根大学法文学部教授
委員	石山 祥子	民俗文化財	島根県教育庁文化財課古代文化センター 専門研究員
委員	喜多村理子	民俗文化財	民俗学者
委員	山本 悦世	考古資料	岡山大学名誉教授
委員	佐藤 仁志	動物、植物	島根大学非常勤講師
委員	澤田 順弘	地質鉱物	島根大学名誉教授

【臨時委員】2名

役 職	氏 名	専 門 分 野	職 名 等
臨時委員	酒井 哲弥	堆積学、地層学	島根大学総合理工学部教授
臨時委員	野村 律夫	層位・古生物学、 環境地質学	島根半島・宍道湖中海ジオパーク専門員 （島根大学名誉教授）

【事務局】13名

氏名	所属	氏名	所属
桑原 賢司	文化スポーツ部長	尾添 和人	文化財課長
今岡 広樹	文化振興課長	川上 昭一	埋蔵文化財調査課長
飯塚 康行	松江城・史料調査課長	岡田 美穂	松江歴史館事務局長
川西 学	埋蔵文化財調査課 調査企画係長	山崎 美沙	文化財課 歴史まちづくり係長
木下 誠	松江城・史料調査課 松江城係長	徳永 隆	埋蔵文化財調査課 発掘調査係長
大島 典子	松江歴史館 学芸係長	丹羽野 裕	文化財総合コーディネーター
大國 菜南	文化財課文化財係		

会議経過

●（事務局 文化財課 尾添課長）

ただいまから令和6年度第1回松江市文化財保護審議会を開催させていただきます。
まず、開催に当たりまして、文化スポーツ部長、桑原賢司から御挨拶申し上げます。

●（事務局 文化スポーツ部 桑原部長）

失礼いたします。文化スポーツ部長の桑原でございます。本日はお忙しい中、松江市文化財保護審議会に御出席いただきまして、誠にありがとうございます。

また、平素から松江市の文化財行政につきまして、御指導、御助言、そして調査、研究への御協力いただいておりますことに関しまして、この場をお借りいたしまして深く感謝を申し上げます。どうもありがとうございます。

前回となります、本年2月に開催されました審議会で御答申いただきまして、市の指定文化財となりました松江城正保年間絵図につきましては、地元紙の山陰中央新報をはじめまして、複数紙に掲載されまして、松江市民を中心に多くの方にその存在を知っていただくよい機会となったところでございます。

また先日、うれしいニュースがございまして、小泉セツがモデルとなります、来年秋から放送予定のNHK連続テレビ小説「ばけばけ」の制作が決定いたしました。小泉八雲記念館では、小泉八雲の没後120周年、それから、「怪談」出版から120周年を記念いたしまして、企画展「小泉セツ—ラフカディオ・ハーンの妻として生きて」を開催しております、多くの方に大変御好評いただいておりますところでございます。放送に伴いまして、多くの観光客の方に足を運んでいただくきっかけとなることを期待しておりますとともに、小泉八雲関係施設を中心とした文化観光によりまして、より一層注力をしてまいりたいと考えております。

本日は、前回に引き続きまして、松江市指定文化財の指定について御審議いただきます。文化財の点検報告や、今後、調査予定の指定文化財の指定候補などにつきまして多くの案件がございます。それから、後ほど現地に視察に行ってくださいことになっておりますが、気温が大変高くなっておりますので、体調には十分に気をつけていただきまして、何かございましたらすぐにお申しつけいただければと思っております。長時間にわたりますが、皆様方には忌憚のない御意見をいただきますようお願いを申し上げまして、私からの挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。ありがと

うございます。

●（事務局 文化財課 尾添課長）

そうしますと、続きまして、お手元にお配りしております資料のほうを確認させていただきます。

まず、席次表がございます。続きまして、本日の次第、委員名簿、報告１としまして松江城地内での倒木発生状況と今後の対策についてでございます。報告２でホチキス留めしております指定候補件数一覧表、その他でございます。報告３が市指定文化財の詳細報告、並びにその他の天然記念物の調査報告のつづり。報告４、文化財指定候補の概要報告について。議事としまして、議事１、文化財指定について。以上でございます。資料のほう不足等はないでしょうか。どうでしょうか。

また、本日の審議会ですけれど、事前に大林委員と和田委員から御欠席の御連絡をいただいております。本日は、委員総数１６名中１４名の皆様に御出席いただいております。本日の会議は、おおむね１６時４５分終了を予定しております。

それでは、ここからは松江市文化財保護審議会条例第７条第２項の規定により、会議の進行を会長にお願いさせていただきます。

それでは、佐藤信会長、よろしくお願いいたします。

○佐藤信会長

ありがとうございます。

本日は暑い中、どうもありがとうございます。お久しぶりでございますが、景色のいいところで、本日、議題たくさんありますので、順調に御議論いただいた上で、現地調査もあるということです、そちらにも期待したいと思っております。

まず、本日の審議会の公開、あるいは非公開についてお諮りしたいと思います。本日の審議会は、松江市情報公開条例及びそれに基づく審議会等の公開に関する要綱の規定に基づきまして、原則は公開というふうになっております。ただし、本日の報告事項の２、３、４、市指定文化財指定候補リストについて、あるいは点検報告について、あるいは指定候補についての報告２以降の報告につきまして、それから、議事の１、市指定文化財の指定についてに関しましては、この審議会での率直な意見交換、それから意思決定の中立性を担保するために、非公開として審議したいと思います。その旨、事務局からも報告を受けております。したがって、報告の２以降につきましては、非公開としたいと思います。よろしいでしょうか。

ありがとうございます。それでは、そのようにさせていただいて、本日の次第に従って進行したいと思います。

まず、ここまでは公開ということですが、報告事項の報告1、史跡松江城地内での倒木発生状況と今後の対応について、事務局から説明をお願いします。

●（事務局 松江城・史料調査課 飯塚課長）

（報告1 史跡松江城地内での倒木発生状況と今後の対応について説明…資料1）

○佐藤信会長

ありがとうございました。ただいまの史跡松江城地内での倒木発生状況と今後の対応について、委員の皆様から御意見、御質問ございませんでしょうか。ありましたら挙手をお願いいたします。

どうぞ、お願いします。

○佐藤仁志委員

すみません。先ほどの資料でちょっと確認したいのですが、オニグルミのほうの下が一番右の写真は、どこの部分ですか。根元の部分なのか、その5メートル付近で折れて落下したところの折れ口ですか。

●（事務局 松江城・史料調査課 飯塚課長）

この写真は、ちょうど幹が折れたところの写真でございまして、反対側の一番てっぺんの側の写真は載せておりませんが、観察したところ、そっち側はこの空洞が入っております……。

○佐藤仁志委員

その折れて残ったのを、この写真の中にはないわけですか。

●（事務局 松江城・史料調査課 飯塚課長）

真ん中の、下の真ん中の写真がオニグルミ倒木状況ですね。一番左端のところに石垣の上にちょっと斜めに生えている木が……。

○佐藤仁志委員

はい。

●（事務局 松江城・史料調査課 飯塚課長）

分かるかと思います。5メートル部分の立ち木は残っています。

○佐藤仁志委員

石垣から生えているやつが折れたのですか。

●（事務局 松江城・史料調査課 飯塚課長）

そうです、はい。

○佐藤仁志委員

はい。分かりました。この関係で若干、説明をさせていただければと思いますけども、私、樹木医会のメンバーでもあって、以前、先ほど説明ありましたような診断とかをして報告をしておりました。それで、通常、倒木が起こる場合には、かなりの確率で根元から根株腐朽という形で、腐朽しているものから倒れることがかなりの確率が高い。今回は、両方とも途中から幹が折れたという形になっています。

このオニグルミやったら、そんなに古くないと思うのですけれども、松の場合は200年以上、250年とか、そのぐらい経過した樹木なので、なかなか診断が難しいのですけれども、以前、精密診断という形で、先ほど紹介があったようないろんな機器を使って診断したことがあります。そのときには、先ほど説明しましたように、一番倒木のおそれが高いのは根株の腐朽によるものということで、地際から30センチぐらいのところを中心に診断しています。倒木した切り株が現場に残っていますので、それを見ていただけると分かるのですけれども、切り株のところほとんど腐朽してないんですね。今、ここでは3メートル付近と書かれていますけれども、その部分が腐朽して、その折れ口が真ん中の写真で見ることができるようにかなり腐朽部が広がってしまっていて、その3メートルぐらいの高いところで、なかなか目に見えないところが大きく腐朽して、そこが弱くなって折れたという形なんですね。それで、枝葉は健全と見られたと書かれていますけども、そのとおりで、根株のところもそんなに腐朽が見られずに、枝葉は健全に見られた。だけれども、その3メートルぐらいのほう、高いところで腐朽があったと。で、ここにも書かれていますように、雷の影響とか書かれていますけども、落雷があると幹に縦状に筋が入って、そこが樹皮がはじき飛ばされるような形になって、そういうところから雨水が入って腐朽するということがよくあります。もしかしたら、そういうことが起こったのかもしれないけれども、なかなか診断が難しいということは事実です。

それと、ここには書かれてないのですけども、この広場側というか通路側に、多分、当時で傾斜が30度ぐらい、かなりの高い松が傾斜してしまっていて、それには診断したときに、とにかく傾斜もあるしバランスも悪いので、例えば、半分とか3分の1ぐらい上部を切断して、バランス調整したほうがいいよというようなことも提案をしていましたけれども、そういうことはその当時はなされてなかった。結果としてこういうことが起こったという

状況です。今後、いろいろ詳細な調査をしながら、対応をされるという御説明でしたけども、なかなか診断調査が難しいという現状を含めて説明させていただきました。以上でございます。

○佐藤信会長

ありがとうございます。これは、写真を見ても、広場に折れたクロマツの大木とか、石垣の上からオニグルミが下の園路に落ちているというのは、大変危険な状況だと思います。幸い人的な被害だとか、あるいは史跡の毀損というものがあったというのは、本当の不幸中の幸いだと思います。今のお話のように、診断するのがなかなか難しい面もあるということです。今後の対応を十分お考えいただいて、調査を進めていただきますようお願いしたいと思います。

ほかにいかがでしょうか、よろしいでしょうか。

でも診断するにも、今の佐藤委員のお話のように、3メートル上って見ないとなかなか見られない……。

○佐藤仁志委員

そうですね。

○佐藤信会長

ですし、それから、一見元気だったというので、なかなか診断のしようがないかもしれませんが、あとは、何かしら危ない木があった場合は注意喚起のサインを置くとか、考えたほうがいいのかもしいと思います。それも含めて、ぜひ今後の対応の検討を十分をお願いしたいと思います。

○野村委員

一つ、ちょっとよろしいですか。

○佐藤信会長

どうぞ、お願いします。

○野村委員

このオニグルミの倒木ですけども、真ん中の写真見ますと、石垣の脇のほうから成長して、ずっと伸びていますよね。これっていうのは、石垣にも影響を及ぼすだろうし、安全上、こういうのは成長前に切ってしまうとか、そういうことっていうのはできないものなのですかね。だから、このままずっと大きくなって、倒木して、たまたま下のほうに歩いてたっていうことになるのと大けがになりますよね。これもうどうされるのがいいのか

なと思って、今、単なる診断以上の問題かなと思って、ちょっと聞いておりました。

○佐藤信会長

これまで、この審議会でも話題になったかと私は記憶するのですが、石垣に悪い影響を及ぼすような樹木の状況については、むしろ保全のために早く手当てしたほうが良いという話が今まであったような気がするのです。具体的に、ではどの樹木を切るという話にはなっていないと思うのですが、いかがでしたでしょうか。

●（事務局 松江城・史料調査課 飯塚課長）

史跡松江城で保存活用計画というものを策定しておりまして、その中で今、お話にあったような石垣支障木という、この石垣の近くに生えていて、石垣に悪影響を与える木というものは掲載をしております。そうした木は、やはり状態を見ながら、石垣を孕ませたり崩したりする可能性がありますので、切っていく必要があるというふうの方針は出しております。

具体的にそういった木がかなり城内にありますもので、その辺は年次計画的にスケジュールを組んで、伐採をしていくというふうに考えております。

○佐藤信会長

ぜひ今回の対応の検討と併せて、その保存活用計画で既に決まっている石垣支障木についても、ちょっと併せて具体的な検討をお願いできればと思います。

ほかにいかがでしょうか。

○山本委員

よろしいですか。

○佐藤信会長

どうぞ、山本委員。

○山本委員

ここに直接関わることもないですけど、5メートルとか3メートルとか残っているわけですね。それは今後どうされるのでしょうか。

●（事務局 松江城・史料調査課 飯塚課長）

6月23日のクロマツは、3メートル残っているものはもう既に地際で伐採が終わっております。先日24日に倒れたオニグルミですけれども、根本部分はまだ残っておりますので、8月のところで伐採する予定を組んでおります。それまでのところは、見学者の

方が立ち入らないように、立入り制限の措置をしているところです。

○山本委員

分かりました。ありがとうございます。

○佐藤信会長

私もこの話を伺ったとき、松江城の200年以上前の江戸時代の松であれば、その木を使って何かミュージアムグッズとかできないかなと思ったこともありますけど、活用についてもお考えいただきたい。

ほかにいかがでしょうか、よろしいでしょうか。

それでは、今の話から、冒頭でお話ししましたとおり、これ以後の審議は非公開とさせていただきます。今日は、傍聴の方、取材の方はおられないでしょうか。おられれば退室をお願いしたいというふうに思います。

それでは、早速、報告の2のほうであります。市指定文化財指定候補リストについて、事務局から説明をお願いします。

(報告2、報告3、報告4、報告5、議事1は非公開)

○佐藤信会長

これで一応議事が終わったのですけれども、何か特に御意見とかございませんでしょうか、よろしいでしょうか。

それでは、これで議事を終了させていただきたいと思います。どうもありがとうございました。会議次第、第3がまだありましたね、会議次第の第3のその他というのがございますので、事務局のほうから何かありますでしょうか。

●(事務局 文化財課 尾添課長)

本日の会議録は、非公開の部分を除き市のホームページに公開することとしております。事務局で会議録を作成しましたら、皆様に送付いたしますので、それぞれ御自分の発言内容を御確認いただきたいと思います。その上で、最終確認及び確定につきましては、佐藤会長にお願いをしたいというふうに思います。

○佐藤信会長

ただいまの事務局からの御報告でよろしいでしょうか。

ありがとうございます。それでは、これで、本当に本日予定された議題は以上です。全体を通して御意見があればということで、ここでお尋ねしたかったのですけれども。

では、先ほどありませんでしたので、御発言ないということで、それで全ての議題が終了いたしました。本日は、円滑な議事運営に御協力いただきましてありがとうございます。

それでは、進行を事務局にお返しいたします。

●（事務局 文化財課 尾添課長）

佐藤会長には円滑な議事運営をしていただき、誠にありがとうございました。また、委員の皆様におかれましても、長時間にわたり御審議いただき、貴重な御意見をいただきましたこと、感謝申し上げます。

以上で終わりますけれども、お忘れ物等ないようにお気をつけいただきまして、いま一度お手元のほう、お確かめいただきたいというふうに思います。

では、以上をもちまして、令和6年度第1回松江市文化財保護審議会を終了いたします。ありがとうございました。

【会議録署名】

令和 年 月 日

松江市文化財保護審議会

会長 _____